

岡崎市(愛知県)の一体的実施①

平成24年5月17日事業開始

市役所西庁舎南棟 1階「岡崎市就労サポートセンター」に一般相談コーナーを開設し、市による生活・福祉の相談・情報提供とハローワークの職業紹介等を一体的に実施

市

生活相談員による生活相談
福祉相談員による同行支援
外国人相談者の通訳



国

職業紹介・職業相談の実施

① 事業内容

- ・就職困難者等に対する生活支援に関する相談及び情報提供
- ・市及び他機関が実施する雇用・労働関連事業等の情報提供
- ・来所者への職業紹介・職業相談

② 協定・事業計画

- ・岡崎市長と愛知労働局長の間で協定(*)を締結
- ・数値目標を盛り込んだ事業計画を岡崎市と愛知労働局の間で策定

※ 協定の実施及び改廃に関して、互いに要望することができ、当該出された要望については、互いに誠実に対応する旨を規定

③ 運営協議会

- ・岡崎市、愛知労働局、岡崎公共職業安定所、労使団体をメンバーとする運営協議会を設置

一般市民の生活の安定と再就職の促進を図るため、市役所内に設置し、生活支援を必要とする者等を中心とした一体的実施を実現。

(1) 実施体制

市

- ・通訳相談員1名 配置

国

- ・職業相談員2名
- ・求人情報提供端末3台、職業紹介端末2台を配置

(2) 事業目標と取組状況(25年度)

	事業目標	取組状況 (平成25年10月末時点)
職業紹介・相談	250人以上の紹介就職	105人
	【参考】24年度目標 (24年5月～25年3月) 200人以上	【参考】24年度実績 (24年5月～25年3月) 186人
生活安定事業	1,800人以上の生活相談	812人
	【参考】24年度目標 (24年5月～25年3月) 1,200人以上	【参考】24年度実績 (24年5月～25年3月) 1,032人

一体的実施事業による就職成功例

男性：19歳

希望職種：製造業（工場）など

○ 生活保護に至る過程

母親が離婚し母子家庭となり、母親と兄の三人暮らし。兄は腰の障害があり働けず、母親の稼ぎでは生活できず、生活保護申請に至る。

① 抱える課題

高校卒業後まだ就職経験が無く、母親に過保護に育てられ、自立心が弱い。

② 支援内容・ポイント・経過

- ケースワーカーより就労支援の依頼を受け、1回/週のペースで面談を実施。
- 若干知的な面で遅れはあるが、障害者手帳をもらう程ではなく、製造関係に応募するもなかなか採用されなかった。
- 少しでも就職に有利にと職業訓練（メクラフト）を勧め6ヶ月間の訓練を行い、溶接技術を身に付けた。
- 溶接関係の仕事を選び、職業経験が無い為、トライアルで応募したら、見事合格となった。

③ 結果

- 溶接工見習（正社員・トライアル）
- ※支援期間 12カ月

○ 就労ナビゲーターの所感

- トライアルとはいえ、職業訓練で得た技術で就職に繋がったことは大変良かったと思う。このまま本採用に至るまで頑張ってもらいたい。